

令和4年度（令和2・3年度繰越分） 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業（事業実施状況及び効果検証）

<島根県大田市>

● 令和2年度繰越分充当額	： 5,000千円
● 令和3年度繰越分充当額	： 86,234千円
令和4年度への繰越分充当合計	： 91,234千円

計画No.	補助／単独	交付金実施計画事業名	事業概要（臨時交付金実施計画より） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	予算事業名	所管課	令和2年度		令和3年度		令和4年度		事業実施時期	事業実績及び効果検証
						決算額(円)	うち交付金充当額(円)	決算額(円)	うち交付金充当額(円)	決算額(円)	うち交付金充当額(円)		
R261	単	音声放送システム機器整備事業	①市内において感染が発生又は拡大した際に、宅内の告知放送機器を通じて適時適切に市民に注意喚起するため、システムの改修を行う。 ②③システム整備 工事請負費7,726千円 ④-（市で実施）	音声告知放送システム機器更新事業	危機管理課	0	0	0	0	5,082,000	3,000,000	R3.7 ~ R4.9	【事業実績】 ・音声告知放送システム機器更新工事 5,082千円 【効果検証】 音声告知放送システムの機器を整備することにより、感染症拡大時など緊急時に住民に必要な情報を即時に伝達することが可能な体制の整備が図られた。
				音声告知放送システム機器更新事業	消防部総務課	0	0	0	0	2,238,500	2,000,000	R3.6 ~ R4.9	【事業実績】 ・音声告知システム機器更新工事 2,239千円 【効果検証】 音声告知放送システムの機器を整備することにより、感染症拡大時など緊急時に住民に必要な情報を即時に伝達することが可能な体制の整備が図られた。
事業計						0	0	0	0	7,320,500	5,000,000	R3.6 ~ R4.9	
R32	単	スマートシティ推進事業（行政IT化分）	①感染症拡大防止を目的として、職員同士の接触機会の低減及び来庁者との接触による感染リスク回避のため、分散勤務体制の整備や事務のデジタル化等を進める。 ②③ ア 行政のデジタル化推進に伴うネットワークへの負荷増加対応のためのネットワーク増強経費(69施設分) ネットワーク機器等更新業務委託 ・センター施設ネットワーク等の増強56,056千円 ・各施設ネットワークの増強42,842千円 イ 外国人への情報発信の強化 ・市ホームページ等のドメイン統一のためのシステム改修費6,924千円 ウ 農業振興地域整備計画図のデジタル化（関係機関との対面機会減少の中での業務効率化） ・業務委託費2,881千円、備品購入費（PC、タブレット）634千円 ④地方公共団体	スマートシティ推進事業	情報企画課	0	0	46,367,200	45,430,000	53,746,000	53,000,000	R3.6 ~ R4.5	【事業実績】 ・分庁舎のネットワーク機器等整備 33,330千円 ・分庁舎、各局舎のネットワーク機器等整備 20,416千円 【効果検証】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からも、庁内ネットワークの無線化、フリーWi-Fi及びギガスクール事業の展開が行われており、高速・大容量通信が求められることとなったため、公共ネットワークにおける機器の設置及び設定を行い、通信環境の高速化を図った。
R342	単	チャレンジ企業応援事業	①ポストコロナ時代のニューノーマルを見据えた起業・第二創業を支援し、持続可能な商業振興を図る。 ②事業の実施にかかる経費（改修費、備品購入費ほか） ③補助率2/3以内、上限1,000千円×3件 ④大田市内に事業所を有する中小企業等、大田市内に住所等を有し、大田市内で創業する者	チャレンジ企業応援事業	産業企画課	0	0	0	0	1,962,000	1,900,000	R4.3 ~ R5.3	【事業実績】 ・市内事業者への新事業展開等に必要経費補助 1,962千円 【効果検証】 市内事業者の新事業展開に対し補助を行うことにより、ウィズコロナ・ポストコロナ時代の新たな分野への進出やニーズを取り込んだサービス展開の取り組みを支援し、地域経済の活性化に繋がった。

計画No.	補助／単独	交付金実施計画事業名	事業概要（臨時交付金実施計画より） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	予算事業名	所管課	令和2年度		令和3年度		令和4年度		事業実施時期	事業実績及び効果検証
						決算額(円)	うち交付金充当額(円)	決算額(円)	うち交付金充当額(円)	決算額(円)	うち交付金充当額(円)		
R343	単	シティプロモーション事業	①新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、国立公園・三瓶山、世界遺産・石見銀山遺跡、日本遺産「石見の火山」「石見神楽」と「温泉」「食」「自然」といった大田市の魅力ある観光資源に関する露出を高めることで、大田市の認知度向上及び近隣県からの来訪意欲の喚起を図る。 ②③「旅色」コンテンツ制作委託18,700千円【電子雑誌（1年掲載）11,000千円、紙冊子（20,000部）2,750千円、動画（180秒、60秒、15秒）1,100千円】、Web広告委託1,100千円、デジタルサイネージ広告（JR西日本 広島駅）2,090千円 ④地方公共団体	シティプロモーション事業	観光振興課	0	0	0	0	21,890,000	20,234,000	R4.4 ~ R5.3	【事業実績】 ・電子情報誌作成・掲載 11,000千円 ・紙冊子作成 2,750千円 ・動画作成 4,950千円 ・Web及びデジタルサイネージ広告 3,190千円 【効果検証】 首都圏及び山陽エリアを対象に実施したWeb上での情報発信は多くの閲覧があり、大田市の観光情報を広く周知することができた。また、情報発信の派生効果として、新聞記事やWeb上の各種メディアにおいて計121本の掲載に繋がった。
R344	単	自動釣銭機付きレジ導入事業	①感染拡大防止を目的として、自動釣銭機付きレジを導入することにより、来庁者との接触による感染リスクの低減を図る。 ②自動釣銭機付きレジ購入経費及び機器保守経費 ③自動釣銭機付きレジ購入費1,683千円 ④地方公共団体	自動釣銭機付きレジ導入事業	出納室	0	0	0	0	1,595,000	1,500,000	R4.3 ~ R4.7	【事業実績】 ・自動釣銭機付きレジ購入 1,595千円 【効果検証】 自動釣銭機付きレジの導入により、現金を受け渡しする際の来庁者との接触による感染リスクの低減を図ることができた。 また、取り扱う現金が高額となることから、レジの導入により安全性が確保されるとともに正確でスムーズな公金の収納が可能となった。
R345	補	学校保健特別対策事業費補助金	①段階的な学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童及び生徒の学習を保障 ②感染対策に係る需用費 ③1,350千円×2校=2,700千円、900千円×20校=18,000千円 ④市内小中学校22校	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	教育部総務課	0	0	0	0	20,697,492	9,600,000	R4.4 ~ R5.3	【事業実績】 ・消毒液、ペーパータオル、手袋等購入 6,042千円 ・エアコン、空気清浄機、ディスプレイ、網戸等購入 14,434千円 ・楽器輸送費 23千円 ・体育館使用料 198千円 【効果検証】 各学校が児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、学校教育活動の円滑な運営が行われることを目的として消耗品等を購入した。
総合計						0	0	46,367,200	45,430,000	107,210,992	91,234,000		